# 大間原発NO!

世界で一番危険なフルMOX大間原発反対!

核分裂の制御が難しい　フルMOX　はチョー危険！
津軽の海を放射能で汚さないで！
原発はもういらない！

♫首都圏の皆さん、函館市民に代わって東京地裁にぜひ傍聴に来てくださ～い♫

## 東京地裁103号法廷

（最寄駅　地下鉄：霞ヶ関駅A１出口）

# 函館市
# 大間原発建設差し止め裁判

## 第１８回口頭弁論

2018年 **12月5日（水）14:00～** （開始時間に注意）

●地裁前で13時半まで傍聴整理券の配布が行われます。その後、傍聴券抽選・配布

**裁判報告集会**
**会場：　参議院議員会館（予定）**

**開会：　15:30～**

・弁護団報告
・[redacted] 田中一郎さん
「脱原発ロードマップ」
他

この宝の海をこれからの将来を担う子供たちや孫たちに財産として残してやりたい、お金に変えられない素晴らしい資源なんです。
これからの子供や孫たちに負の遺産を残さないためにも自然豊かな大間町を放射能で汚染しないでください。
（2005/5/3 青森県知事への熊谷あさ子さんの嘆願書より）

主催：大間原発反対関東の会
（函館市の「大間原発差し止め裁判」等を首都圏で勝手連的に応援するためにつくられた会です）
連絡先：　080-6616-9604（玉中）
aki-trsk@outlook.jp （寺崎）
賛同：経産省前テントひろば

12月のスタンディングはお休みします。

# 茨城・東海第二　那珂市長、再稼働「反対」

## 同意対象６市村で初

海野徹・那珂市長

首都圏唯一の原発で、十一月末に四十年の運転期限を迎える日本原子力発電（原電）東海第二原発（茨城県東海村）を巡り、再稼働に事前同意が必要とされる地元六市村のうち、那珂（なか）市の海野（うみの）徹市長が二十二日、本紙の取材に応じ「事故が起きれば、市は立地自治体以上の被害を受けるかもしれない。再稼働に反対だ」と述べた。　（山下葉月）

那珂市を含めた東海第二三十キロ圏の六市村は、原電が再稼働時に同意を取る協定を結んでいる。六市村の首長で再稼働反対を表明したのは海野市長が初めて。

海野市長は来年二月に任期満了を迎える。出馬については明言していないが、仮に続投すれば、任期中は東海第二の再稼働は難しくなる。

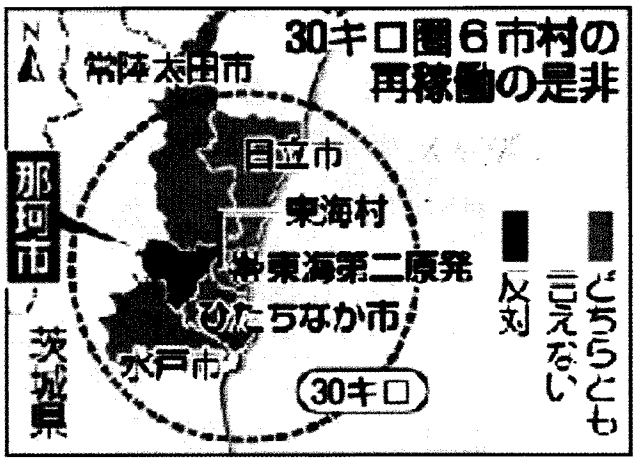
反対の理由については、市が二〇一六年度に実施した、再稼働についての市民アンケートの結果を挙げた。「反対」「どちらかといえば反対」と答えた人が約６５％を占めた。

「市民の意思を反映したかった。自分が市長であるうちに決断したかった」と語った。

さらに「原発事故が起きれば、風向き次第で那珂市も甚大な被害を受ける」と強調。東海第二が老朽化していると指摘し「早く片付けてほしい」と、早期の廃炉を求めた。

東海第二は十一月二十七日に運転期限の四十年を迎えるが、原子力規制委員会が二十年の運転延長に必要な審査を進め、認められる見通しになっている。

東京新聞　2018年10月23日 朝刊




**那珂市長以外の５市町村長も、ぜひ再稼働反対の意思表示をしてほしい。私たちも支援します。**

**電源開発は原子力から撤退し、水力、風力、太陽光、地熱などの、再生可能エネルギー開発に邁進してください**

（文責：大間原発に反対する関東の会）